

事業番号	0019	事業名	被収容者生活関連業務の維持
------	------	-----	---------------

外部有識者のコメント

- 自営作業は更生に効果があると推定されるが、特に拘禁刑の導入を踏まえ、自営作業の効果(=更生)を改めて評価する必要がある。
- 受刑者の変化、拘禁刑の導入といった環境の変化を踏まえ、事業全体の持続可能性を考慮し、中期的な計画が必要である。
- 拘禁刑の導入を踏まえ、必要な自営作業の不足が見込まれる量＝調達が必要な量、そのときのコストを含めて、改めて分析・把握する必要がある。その上で、衣食をどのような形(内製、外部調達)で整備するのが良いのかを検討していく必要がある。
- 事業全体として、被収容者の生活環境を維持するという目的と、それを受刑者の自営作業によることにより矯正に役立てるという目的が併存している。前者の観点のみで言えば効率的な調達を実現するための外部委託などを積極的に検討すべきであるが、それにとどまらない意義や必要性を現場において実感しているところも理解できる。
- 現状の成果指標は被収容者の生活環境維持という側面にのみ注目して設定されており、矯正に対する意義が示されていない。また、後者については現場の実感という質的な評価にとどまっている感が強い。
- 矯正に問題ない範囲で外部委託などの効率化を進める一方、矯正面での必要性を検証するため、出所後の就職率・再犯率などを含めた更生状況から生活関連業務の有効性について定量的に評価することを試み、アウトカム指標として設定することを考慮すべきである。矯正局にとどまらず、あるいは政府全体の取組として、矯正等の処遇の効果を追跡し定量的に評価することを可能とするための情報基盤の整備が求められる。
- 受刑者の高齢化に伴い、衣類等を購入に切り替えることについては合理的であると考えます。
- 一方で、刑務作業については社会復帰後の職業訓練になっている観点もあると思い、刑務作業時間の減少時間をどのような社会復帰支援の時間に変えていくか、その効果を把握することが必要と考えます。
- また、受刑者数や年齢からどの程度製品を生産(自給)でき、不足する製品がどの程度なのか測定を行い、適正数を購入していることを測定するようなことが必要と考えます。
- 本作業については、費用対効果以上の矯正的效果が見込まれるということはよく理解できた。また、中長期的にも工夫により必要な作業人数の確保も可能であるとの見通しも頂いた。現状を維持しつつも、外部調達の方がより安価で品質上も問題ないものなどは外部調達に切り替えるといった効率化の検討と、また、本作業の矯正的效果の検証をお願いしたい。特に、後者については、今後、本作業をより効果的・効率的なものとなるよう見直ししていく上での指標となると考えられる。

- 本刑務作業の目的である受刑者の改善更生に資しているかどうかについての効果の定量的測定が十分にできていない。難しい側面はあるとしても、その点についての計測に一層努力をすべきである。これはEBPMの基本である。
- 効果が認められるとすれば、拘禁刑の導入後においても継続する合理性はあるが、代替可能な作業を検討し、その効果と比較した結果として選択すべきである。その際に、外注する場合のコストに加え、既存設備の廃棄コスト、代替され得る新たな作業に関する設備投資を含めたコストも視野に入れなければならない。
- 拘禁刑の導入を機に、指導と作業が有機的に結合できるよう、既存作業と新たに取り入れ得る作業を効果とコストの両面から判断していくべきである。
- 受刑者に作業を割り当てる作業量を確保するという発想ではなく、どのような作業が最終的に受刑者の更生の観点から優先度が高いのかという視点が、今までもあったとはいえ弱かったのではないか。その結果、必要なデータを集める意識が低かったのではないか。今回の現地視察で出された正当化理由は、費用面での外部委託への優位性の議論はこの作業特有のものだが、それ以外はおよそどんな刑務作業でも同様の定性的なコメントは得られると予想される。その意味で、この作業が受刑者の更生に資する可能性があることはうかがえるが、その説得力が強いとは言えない。
- 本来は衣類・日用品の作業だけでなく、その他の作業を全体としてレビューした上で、更生への貢献、経費、実現の容易さ等を総合的に見て優先順位を付けることが必要。今回のような切り出し方で議論すると、外部委託の方が高い、安いという議論が中心になりかねない。既に整理が済んだ炊事作業も含めて、順番にばらばらに議論するのではなく一括した議論が必要ではないか。その上で、他の作業に比しても当該作業を外部委託せず残すことの意義が大きいことを示すか、あるいは、全体の中で、残すことの優先順位を明らかにする整理をすべきではないか。
- これまで示された資料からは、作業衣の優先度が高いことは理解できる。